

13. 未来へ・宇宙とAIをやさしく学ぶ科 (2026年度)

【 月曜日 授業予定表 】

					午 前			午 後		
	回	月	日	曜日	講座数	講義テーマ	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	4	6	月	① ★	①入 学 式 (大阪国際会議場)				
	2		13	月	1	AIは世の中をどう変えるか	松原仁：京都橋大	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション		
	3		20	月	2	宇宙の様々な天体	青木成一郎：京情報大	コーダイオリエンテーション 終了後班役割説明		
	4		27	月	3	宇宙の歴史	青木成一郎：京情報大	自主活動	・班各担当・班長決定 各担当別会議（代表者決定他）	
	5	5	11	月	4	月の科学の最前線	寺田健太郎：大阪大	〃	クラス委員長決定、遠足行先検討	
	6		18	月	5	21世紀は脳の時代	筒井博司：元大工大	〃	みんなで語り仲良くなろう 「経験談、趣味」	
	7		25	月	6	ブラックホール	石原秀樹：大工大	〃	班別テーマ検討	
	8	10/11	1	月	② ★	②遠 足 (クラス単位で実施 日程変更可 1学期中に実施)				
	9		8	月	7	天文学の歩みと恒星・銀河までの測定・分析	野上大作 京都大	自主活動	班別テーマ検討	
	10		22	月	8 ③	隕石から判る太陽系の歴史	寺田健太郎：大阪大	③社会への参加活動（準備活動）（活動事例研究）		
	12		29	月	9	環境に応じて柔軟に変化する脳	守田知代：NICT	自主活動	班別テーマ検討	
	13		6	月	10	人・ロボットと共生する脳	守田知代：NICT	〃	班別テーマ検討	
	14		13	月	11	AIは何ができるのか —睡眠分析と気象予測への応用—	福井健一：関西大	〃	フェスタのクラス発表テーマ内容検討	
			8				夏 休 み			
2 学 期	15	9	14	月	12	南極観測の最前線（仮名）	菊池崇：名古屋大	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討	
	16		28	月	13	太陽の不思議	浅井歩：京大	〃	コーダイフェスタ発表準備	
	17		5	月	14	太陽と地球の関係 オーロラを科学する	菊池崇：名古屋大	〃	コーダイフェスタ発表準備	
	18	10	8	木	④ ★	④コーダイ健康まつり (日程・場所 未定)				
	19		19	月	15	宇宙と人間	磯部洋明：京都市芸大	自主活動	コーダイフェスタ発表準備	
	20		26	月	16	素粒子、こんな世界がある	丸信人：大工大	〃	コーダイフェスタ発表準備	
	21		9	月	17	物質・反物質の謎、ダークマターの最新研究	丸信人：大工大	〃	コーダイフェスタ発表準備	
	22	11	16	月	18	脳とコンピュータの違い、AIの誕生	筒井博司：元大工大	〃	コーダイフェスタ発表準備	
	23		25	水	⑤ ★	⑤コーダイフェスタ (日程・場所 未定)				
	24		30	月	19	AIとIoTで変わる日常生活 脳波計でセルフ케어	関谷毅：大阪大	自主活動	班別テーマ検討	
	25	12	7	月	20	現在と未来のAI（ディープラーニング）の応用	布目淳：京都工芸繊維大	自主活動	班別テーマ検討	
	26		14	月	21	自主企画講座（日程変更可）		〃	成果発表会内容検討	
	27		21	月	22	ロボットの歴史、未来のロボット	筒井博司：元大工大	〃	成果発表会準備	
							冬 休 み			
3 学 期	28	1	18	月	23	脳科学からみた認知症 脳内で何が起きているのか	筒井博司：元大工大	自主活動	成果発表会準備	
	29		25	月	⑥ ★	⑥社会への参加活動・・・（仮日程；1学期～3学期の間に活動日を1回設定）				
	30	2	1	月	24	手術支援ロボット	東條剛史 （メディカロイド）	自主活動	成果発表会準備	
	31		8	月	25	ロボットって	大須賀公一：大工大	〃	成果発表会準備	
	32		15	月	26	ロボットと人間	大須賀公一：大工大	〃	成果発表会資料まとめ	
	33		22	27	学習成果発表会					
	34	⑦		⑦修了式						
	35	1		月	⑧ ★	⑧・⑨卒業旅行（クラス単位で実施 1泊2日）				
	36	2	火	⑨						
	授 業（自主企画、成果発表会）					27（講座数列1～27）				
学 習 事 業（①～⑨）					9（講座数列①～⑨）					
合 計					36					

2025/9/22

2025/9/22

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。